

平成 27 年 1 月号

## 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中は格別なるご厚情を賜り御礼申し上げます。本年もご利用者様、ご家族様にとりまして良き一年となりますよう心よりお祈りしております。

社会福祉法人 信隆会 理事長

## よりよき介護を目指して

施設長 帯刀 繁

夏に若木ライフに入られた発語も乏しい全介助の利用者の変化を紹介します。

秋の公園散歩で、木に梯子を掛けて祭りのぼんぼりを準備している町会役員を見て、「あそこ、梯子！」と感動の言葉を発してくれました。ご家族も参加されたケアプラン検討会では、「自身で飲水出来そう」との観察報告があり、早速ご家族が両取って付きのコップを用意されました。すると、飲まれます！次に、スプーンを試しました。これも成功です！冬には、介助なしで食事をするまでになり、明瞭な言葉も増えて表情も豊かに職員とのコミュニケーションを楽しまれています。

この方は、自身の機能低下と介護する職員との関係の中で、新たな自分らしさを作り上げたのだと思います。利用者が変化・成長し、私たち職員に感動を与えてくれました。

若木ライフは、利用者と介護職員が出会う生活の場です。介護を通して利用者の感動や喜びを職員が気付くときに、職員の感動も生まれます。そこに人の幸せがあります。

これからも、介護を通して、利用者の皆様とともに、職員も学び成長する施設を目指してまいります。どうぞよろしく申し上げます。

## お正月の献立

今年も、正月三が日にお節を提供し、召し上がって頂きました。皆様に好評でした。



## 福祉サービス第三者評価を受審しました

若木ライフでは、サービスの質の向上を図るため、平成26年度も引き続き、特養において「福祉サービス第三者評価」を受審致しました。入所者様、経営層聞き取り調査、職員アンケート等を実施し、現在、評価機関が結果をまとめているところです。結果は東京都へ報告され、東京都のホームページ「とうきょう福祉ナビゲーション（下記参照）」にも掲示されますので、ご覧下さい。今後も、サービス評価を継続し、質の向上を図って参ります。

**ホームページ**：<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>

## 寄 贈

本田技研労働組合様より、車いすの「カスタマイズ」の申し出があり、車いす1台をリクライニング車いすへと改造して頂き、平成26年12月13日に納車となりました。この車いすは、座面が自動車のシートようになっており、大変座り心地の良い車いすです。大切に使用させていただきます、ありがとうございました。



## 行事のお知らせ

今年最初の行事「新年を祝う会」を下記のとおり開催致します。ご家族様も是非一緒にお楽しみください。

**日時**：平成27年 1月17日（土） 14:00～

**場所**：B1階 デイルーム

**内容**：日本舞踊、フラダンス、獅子舞い 等



昨年の様子

# 昨年1年間を振り返って

部署毎に、昨年1年間の成果を述べて貰いもらいました。この経験を生かし、今年1年間、更なる介護サービスの向上に励んで参ります。

## 特養：1Fスタッフ

1日の業務の流れのなかで、他部署の方々が沢山関わってもらっています。そのことにより、利用者様へのコミュニケーションを多く取る事が出来るようになりました。今後も、「思い」を共感出来るように続けていきたいと思ひます。

## 特養：2Fスタッフ

食欲不振が続き、声が出なくなっていたAさん。内部研修や外部からの助言を頂き、勉強会を繰り返して行いました。その結果、職員の対応が変わったことで、Aさんの表情が豊かになり、声を出して笑うことも多くなりました。このような結果が出たことが2Fスタッフの活カや、やる気につながりました。

## 特養：3Fスタッフ

今まで食事介助だった利用者様2名が自力で食事できるようになりました。床ずれ防止の取り組みには、機能訓練指導員からのアドバイスを実施して、情報を共有化したことで良い結果につながっています。また、具体的に月間目標を立てる事で、一人一人の仕事に対する意欲、意識が高まりました。

## 特養：4Fスタッフ

利用者様の状態が刻々と変化して行く中で、他部署の方々にも協力してもらい、4Fにて利用者様とのコミュニケーションを取る姿を見ながら、これからどう対応していかなければならないか、ということ職員一人一人が考え、意見を出し合えるフロアになってきた一年だったと思ひます。

## 特養：機能訓練指導員

4月から新体制になり、内部・外部研修や区主催の会議に参加し、また業務改善の情報や資料提供を求められる度に、施設内での自分の業務に課せられていることを理解できた。また、24時間でケアしていく考えに触れ、自分の立場を改めて再確認できたことが良かったと思ひます。

## 特養：看護スタッフ

今年の6月より、看護業務改正に取り組んできました。業務が徐々に改善されたことで利用者様と接する時間を増やし、入浴時の観察、処置も待ち時間を無くし直ちに行うことで、利用者様一人一人に適切な対応が出来た事が良かったと思います。

## 特養：生活相談員

4月から生活相談員が2名になったことで、ご利用者様やご家族様とゆっくりお話できる機会も増えました。しかし、まだまだ十分に声を聴くことが出来ていないときもあるため、今まで以上に「若木ライフの窓口」としての機能を果たせます様に努めて参ります。

## デイサービス認知症対応型

1年間、たくさんの皆様にご利用していただきましてありがとうございました。皆様の笑顔とともに楽しい時間を過ごすことができました。今後も笑顔あふれる楽しいデイサービスを作っていけるようにスタッフ一同頑張りたいと思います。

## おとしより相談センター

支援センターでは、国が推進する地域包括ケアの中核として、人員体制強化に区が取り組んでいます。今回6人体制となり、増え続ける要支援の利用者対応とこれまで出来なかった見守り登録高齢者（約330名）の全戸訪問をスタートできました。来年は各職員のレベルを上げ、困難事例への対応強化を図ります。

## 居宅介護支援事業所

今年も色々な事がありましたが、無事、1年の終わりを迎える事が出来ました。大変お世話になりありがとうございました。来年もご本人様やご家族様が望まれるような在宅生活を過ごす事が出来るように、ケアマネジャーとして今後もお手伝いさせていただきますので宜しく御願い致します。

